

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【湯山小学校】

<第4学年：福祉体験>

総合的な学習の時間で、福祉について学びました。これまでに4年生は、障がいのある方にとってどんな場面で困るだろうかと考えたり、障がいのある方（視覚障がい、聴覚障がい、身体障がい）の生活について調べたりしてきました。

そして、障がいのある方を講師に迎えて、「車いす体験」「手話体験」「ガイドヘルプ体験」を行いました。児童は三つのグループに分かれ、それぞれのグループで車いすに乗ったり、声を出さずに伝言ゲームをしたり、目隠しをして校舎内を歩いたりという障がいの疑似体験をしました。児童からは、「目が見えないと暗くて怖い」「段差やマットの上は、車いすの補助をするのも難しい」「声を出さずに、ジェスチャーだけで言葉を伝えるのは難しい」などの感想が出ました。障害のある方と関わる体験をとおして、全ての人々が健康に生活できることを考え、心を通わせることの大切さを実感しました。

<第5学年：環境守るんジャー>

5年生は、「ふるさと湯山」にある石手川の水質調査をとおして、環境問題を身近な問題として捉え、意欲を持って自分にできることを考えたり、湯山の自然に対する感謝の気持ちを持ったりすることを目的に、活動に取り組んできました。

そして、松山市エコリーダーの方をお迎えして、「川の生きものから水質を知る～石手川の水質～」と題しての環境学習を行いました。学校横の石手川の水生生物を採取していただいたものを見ながら、川の水質を確かめました。「きれいな水」の指標生物を次々と見付け、自分たちの地域にある石手川がきれいなことを知り、児童はとてもうれしそうな表情でした。水生生物を実際に手に取ってじっくりと観察したり、少し怖がりながらも興味深そうに見たりと、意欲的に学習に取り組む姿が見られました。

